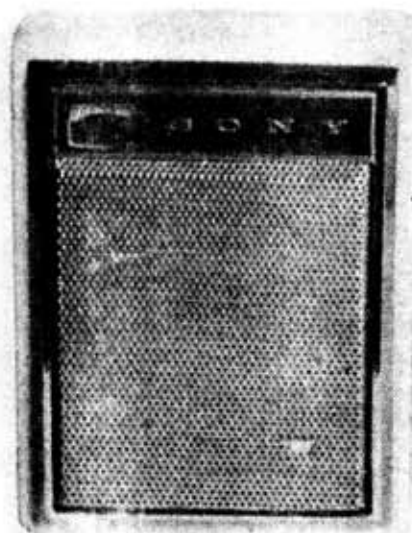


ソニー 7石1 Band TR-730 形



回路構成

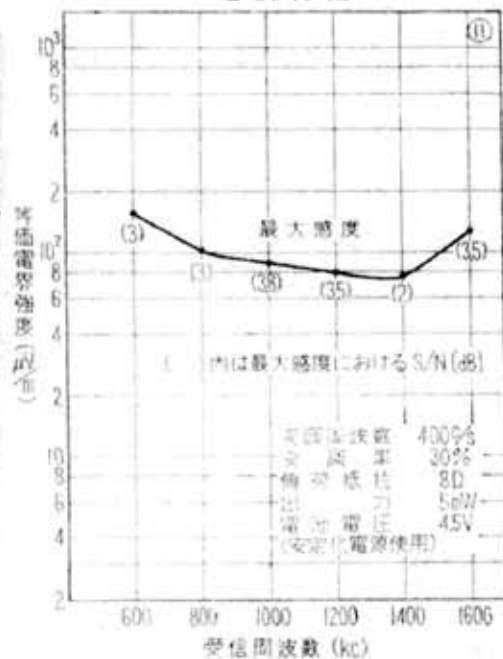
1バンド、7石、1ダイードで、
局部発振回路は自動。低周波増幅2
段を採用している。電源は4.5V。

測定結果

感度特性は、 S/N 30 dB で 71 dB だ
から、他のセットより少し感度が落ち
るように見えるが、事實は決してそん
なことはない。なにしろ、後述のよう
な超小形機であるから、ここまで性能
をあげるのには、たいへんなことだつた
ろう。感度差も 5 dB だから小さく
てよい。

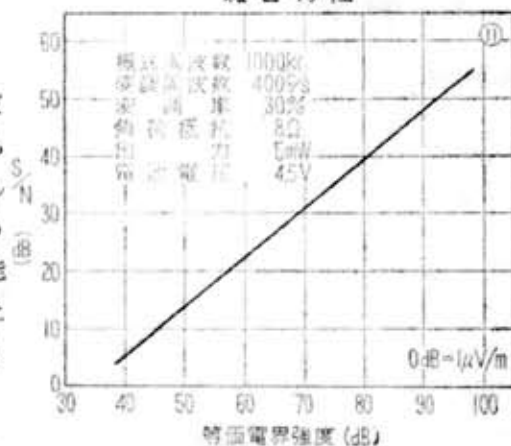
出力は、無ひずみで 90 mW あり、

感度特性



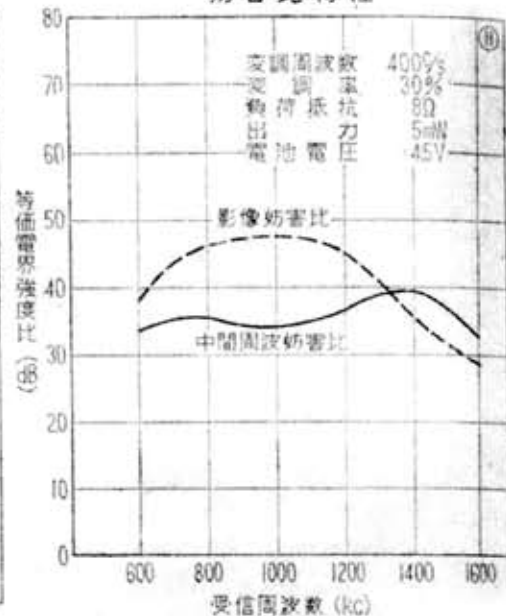
(第1図)

雑音特性



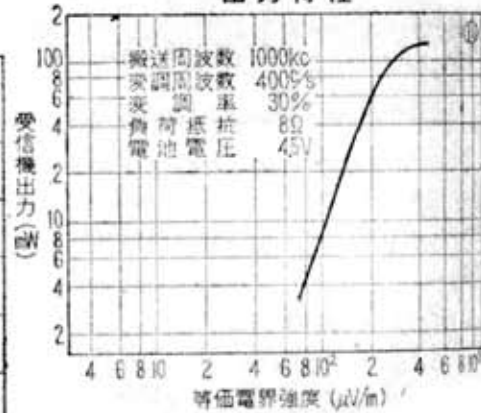
(第2図)

妨害比特性



(第3図)

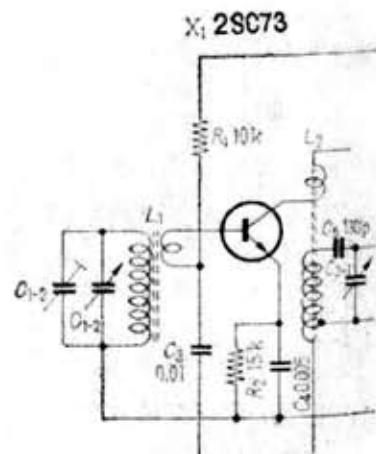
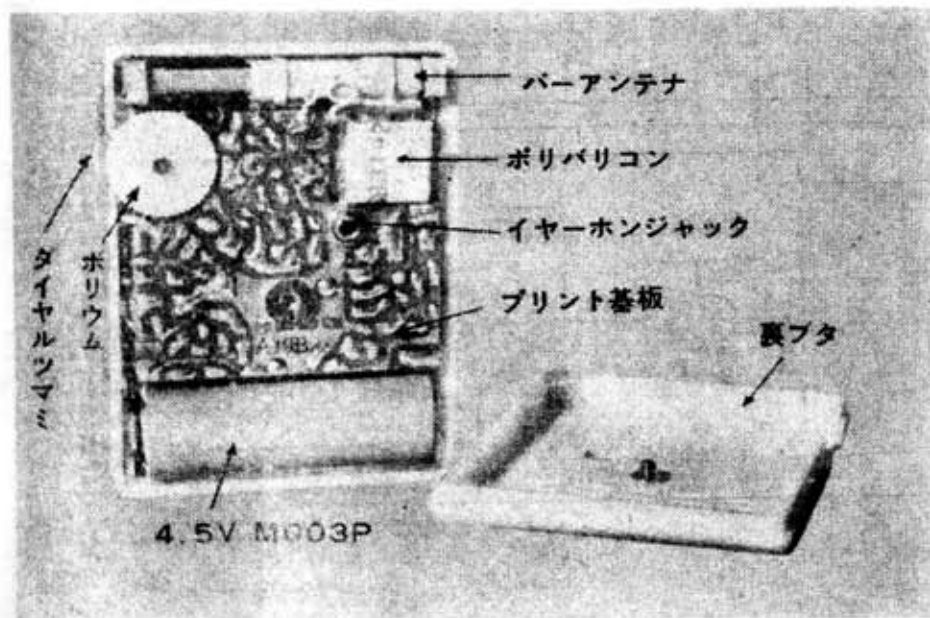
出力特性



(第4図)

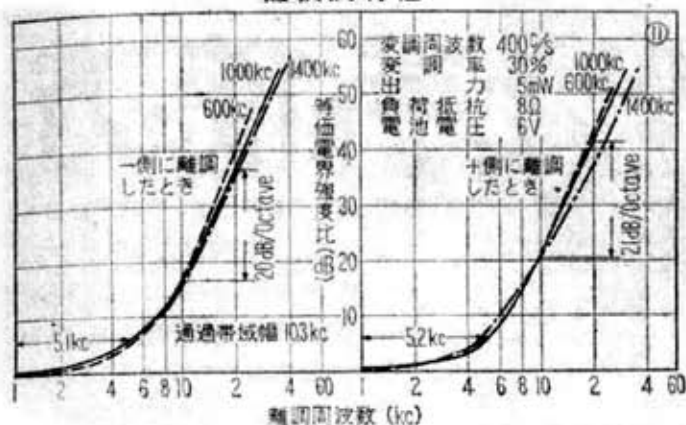
実用上十分である。

妨害特性は、イメージ、中間周波と
もによい結果で、選択度特性も、左右
がほとんどよくそろっているのは、す



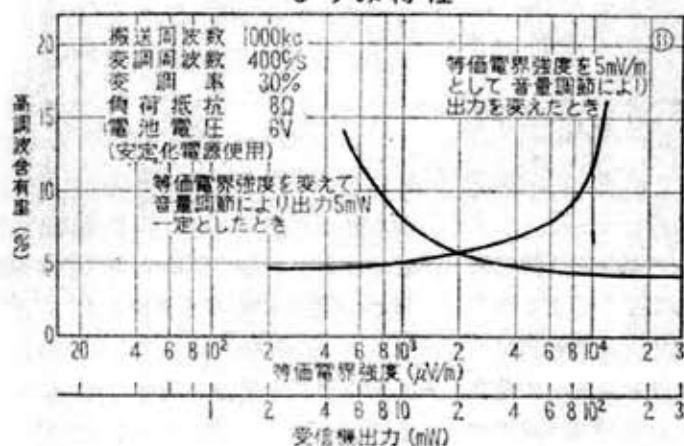
現金正価 7,300 円

選択度特性



(第5図)

ひずみ特性



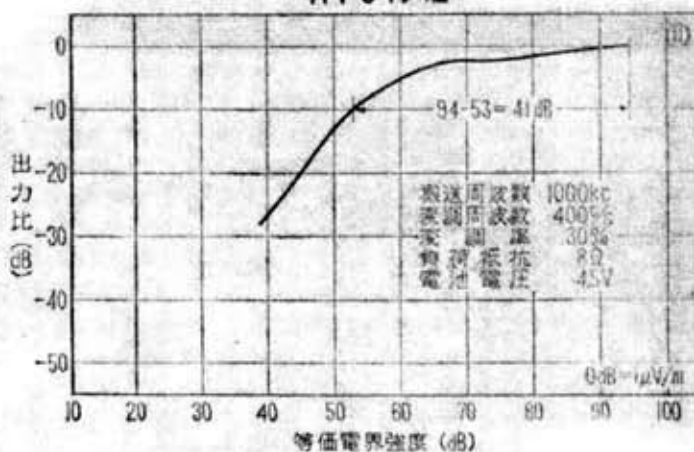
(第6図)

ばらしい。通過帯域幅は、このタイプとしては 10.7 kc もあつて広い。

ひずみ特性は、中信号入力 (1000 kc) のとき 4.7% であるから、悪くない。電気的忠実度も、こうした小さい形のセットとしては、割合い広がっている。

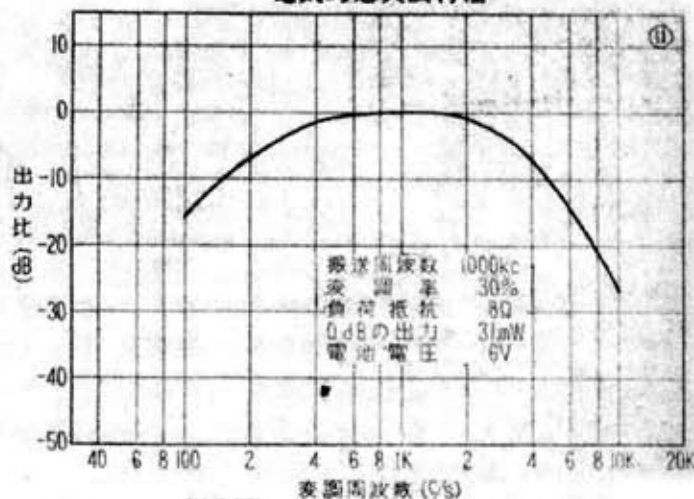
AVC特性も 41 dB あり、たいへんよい。

AVC 特性



(第7図)

電気的忠実度特性



(第8図)

その他

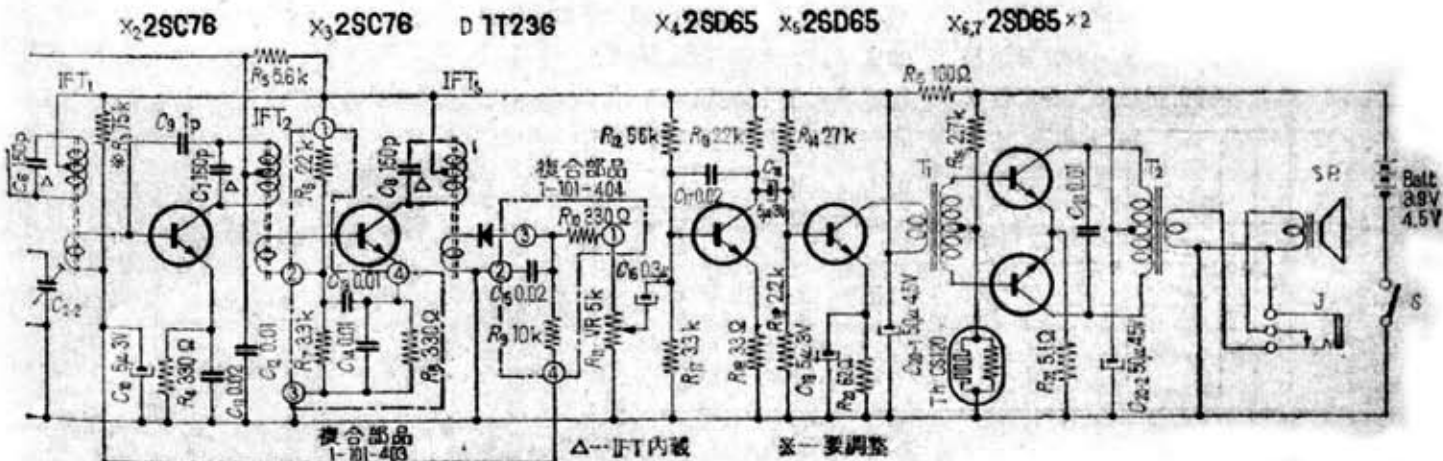
外観は金色のパネルに白色のキャビネットを用い、角ばらせたシックなものである。

ダイヤルは小円で、これまでのポケットタブとほとんど変化していない。

ダイヤルとボリュームのスイッチは1列になつていて、フェライト・コアは上部に横付けである。

バリコンはポリバリの超小形15ミリで、IFTはもちろん最小の7ミリ角。なお電池は MOO 3P つまり4.5V であるが、ナショナルの水銀電池 KM 3P (3.9V) も使用できるようになっている。スピーカはキャビネットに、ハメ込みになっている。

外形寸法は、幅57×高さ75×奥行28 (mm)。



(第9図)